

第7回 政治・外交史(1)

解答と解説は90ページ

1 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

日本列島と大陸が陸続きだったころ、人類はマンモスやナウマンゾウといった大型の動物を追いかけて、日本へ移動してきたと考えられています。ほぼ今日のような日本列島が形成されるころには、①自然環境の変化とともに、日本に住む人々の生活も大きく変わり、縄文文化が成立しました。このころ、すでに朝鮮半島やシベリアなどとの交易も行われていました。

やがて大陸からやってきた人々が、稲作や A 器などを日本に伝え、弥生文化が成立します。②それにともなって身分の差や貧富の差が生まれ、日本にも小国がつくられるようになりました。③こうした国々が中国へ使いを送っていたという記録もあります。

小国を率いる豪族たちは、次第に大王を中心にまとまるようになり、ヤマト政権がつくられます。ヤマト政権は、すぐれた技術や A を求めて朝鮮半島に進出し、半島南部の地域での立場を有利にするため、中国へ使いを送りました。このころ、多くの渡来人によって、大陸から養蚕・機織り・製 A などのさまざまな技術がもたらされました。なかでも漢字・儒教・④仏教などは、後の日本人の考え方や文化に大きな影響をあたえました。

そして、⑤聖徳太子のころには、日本で最初の仏教文化が栄えます。当時、⑥中国にわたった留学生や僧は、政治のしくみや文化を学んで帰国しました。その後も、中国のすずんだ制度や文化をとり入れるためにたびたび⑦使いが派遣され、中国にならって都や⑧律令がつくられました。また、中国の影響を受けた仏教文化が栄え、新しい仏教ももたらされました。

このように、古くから、日本の政治のしくみや文化は、地理的に近い中国や朝鮮半島からの影響を受けて発展してきたといえるのです。

問1 A にあてはまることばを漢字1字で答えなさい。

問2 下線①の説明として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 温暖化によって海面が低下したため、あさりやはまぐりなどの貝を採集し、食料にすることができるようになりました。

イ 動きのはやいしかやいのししなどの動物をとらえるため、狩りに弓矢が使われるようになりました。

ウ 温帯林が広がって食料となる木の実が多くとれるようになり、どんぐりの実などのあくを抜くために、土器が用いられました。

エ 食料が比較的安定して得られるようになると、一か所に長い間定住するようになり、竪穴住居が各地につくられるようになりました。

問3 下線②は、弥生時代のどのようなことからわかりますか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア 土偶の形 イ 死者の葬られ方 ウ 銅鐸の色 エ 埴輪の大きさ

問4 下線③について、次の問いに答えなさい。

1 『後漢書』東夷伝には、倭の〔B〕国が中国へ使いを送り、皇帝から「漢委〔B〕国王」と刻まれた金印を授かったことが記されています。〔B〕にあてはまる国の名を漢字1字で答えなさい。

2 邪馬台国が中国へ使いを送り、称号や金印などを授かったのは、何世紀のできごとですか。次から選んで、記号で答えなさい。

ア 紀元前1世紀 イ 1世紀 ウ 3世紀 エ 5世紀

問5 下線④について、仏教を日本に公に伝えた国を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 高句麗 イ 新羅 ウ 百濟 エ 加羅

問6 下線⑤が摂政をつとめた天皇の名を漢字で答えなさい。また、この天皇と聖徳太子らが行ったことについて、次の文が述べているものを下から選んで、記号で答えなさい。

役人の位をはっきりさせるとともに、家柄によらず能力のある人を取り立てようとなりました。

ア 御成敗式目 イ 冠位十二階 ウ 憲法十七条 エ 摂関政治

問7 下線⑥について、これらの留学生や僧が、中国で〔C〕が滅び、〔D〕が成立するのを目撃したことが、大化の改新にも影響をあたえたとされています。このことについて、次の問いに答えなさい。

1 〔C〕・〔D〕にあてはまる中国の王朝の名をそれぞれ答えなさい。

2 大化の改新を行った中心的な人物は、中大兄皇子でした。中大兄皇子の行ったこととして正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。また、残りの三つの文を古い順にならべかえて、記号で答えなさい。

ア 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、東北地方に勢力をのばしました。

イ 朝鮮半島に兵を送りましたが、唐と新羅の連合軍に敗れてしまいました。

ウ 都を大津に移し、即位して天智天皇になりました。

エ 中臣鎌足らとともに、蘇我氏を滅ぼして、政治の実権をにぎりました。

問8 下線⑦や留学生として中国へわたった人物として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 犬上御田鉞 イ 阿倍仲麻呂 ウ 鑑真 エ 山上憶良

問9 下線⑧について、次の問いに答えなさい。

1 大宝律令が定められた年を、西暦で答えなさい。

2 律令政治について述べた文として正しいものを次からすべて選んで、記号で答えなさい。

ア それぞれの国には、都から派遣された国司がおかれました。

イ 戸籍にもとづいて、6歳以上の男女に同じ面積の田を割り当てました。

ウ 九州の守りにつく防人には、おもに東国の人があてられました。

エ 田にかけられた税を租といい、都に納められました。

オ 天皇のもとに二官八省をおいて、太政官が政策を決めました。

2 平安時代のおもな戦いについて述べた次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

- ㊦ 東北地方の豪族の争いは、父の頼義とともに東国の①武士を率いた [A] らによってしずめられました。東国に源氏の勢力が強まり、平氏は西国で勢力をもつようになっていきました。
- ㊧ ②伊予国の役人をしていた藤原純友は、宇和海にうかぶ島を拠点に、瀬戸内海に海賊を率いて西国を荒らしました。ついには [B] を攻め落としましたが、その後、朝廷の軍に敗れました。
- ㊨ 上皇と天皇の対立に加えて、藤原氏と③平氏・源氏もそれぞれ内部で上皇方と天皇方に分かれて対立するようになりました。この乱に敗れた上皇は、讃岐に流されました。
- ㊩ この戦いで源義朝を倒した [C] は、④政治の実権をにぎりました。また、⑤中国との貿易で大きな利益をあげ、「 [C] の一族でない者は人でない」といわれるほど、勢力を広げました。

問1 [A] ・ [C] にあてはまる人物の名をそれぞれ漢字で答えなさい。

問2 [B] には、九州の政治を担当する役所があてはまります。ここには、中国への使いを停止することを提案した人物が移されたこともありました。[B] にあてはまる役所の名を答えなさい。また、この提案をした人物の名を答えなさい。

問3 下線①について、次の問いに答えなさい。

- 1 武士は貴族のそばに仕える存在でした。そのため、武士は何とよばれるようになりましたか。ひらがな4字で答えなさい。
- 2 都や地方の政治が乱れてくると、地方の有力な豪族は、自分の土地や財産を守ろうと武芸にはげむようになりました。貴族や寺社、豪族などがもっていた私有地のことを何といいますか。また、この私有地について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。
ア 三世一身の法が定められたことをきっかけに、私有地の私有が禁止されました。
イ 貴族の立ち入りを断る、不入の権を手に入れる私有地が増えました。
ウ 豪族の中には、都の有力な貴族や寺社に私有地を寄進する者もいました。
エ 不輸の権を獲得する私有地が増えると、国の収入は増えていきました。

問4 下線②がふくまれる現在の県を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 茨城県 イ 徳島県 ウ 兵庫県 エ 愛媛県

問5 下線③について、武士団の頭(棟梁)になる者の多くは、都から地方に移り住んだ皇族や貴族の子孫でした。中でも皇族を先祖とする源氏と平氏が有力でした。源氏の先祖は [D] 天皇であったため、[D] 源氏ともよべれます。[D] にあてはまる名を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 桓武 イ 元明 ウ 聖武 エ 清和

問6 下線④について、この一族による政治について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 自分の娘を天皇の后にして、朝廷での力を強めました。
- イ 一族で朝廷の重要な役職を独占し、多くの地域を支配しました。
- ウ 大輪田泊を整えて、中国から刀剣などを輸入して軍事力を強めました。
- エ 瀬戸内海の航路の安全を祈るために、厳島神社を保護しました。

問7 下線⑤について、このときの中国の王朝の名を漢字1字で答えなさい。

考 えて み よ う

解答と解説は91ページ

基本

- 1 縄文時代と弥生時代では、死者の葬られ方はどのようにちがいますか。
- 2 倭の五王が、中国にたびたび使いを送った理由を答えなさい。
- 3 推古天皇のころに定められた冠位十二階について、役人の上下関係をはっきりさせる以外の目的を説明しなさい。
- 4 遣隋使が送られた目的を答えなさい。

発展

右の史料を読んで、次の問いに答えなさい。

- 1 にあてはまる役職の名を漢字で答えなさい。
- 2 当時、1の役職につくことを望む者が多かった理由を説明しなさい。

われわれ尾張国の者は、 である藤原元命が三年間に行った悪政31か条について、朝廷の裁きをお願いします。

- 一 朝廷が定めているよりも多くの税を取り立てています。…